

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-504405(P2005-504405A)

【公表日】平成17年2月10日(2005.2.10)

【年通号数】公開・登録公報2005-006

【出願番号】特願2003-531463(P2003-531463)

【国際特許分類】

G 11 B 7/085 (2006.01)

【F I】

G 11 B 7/085 H

【手続補正書】

【提出日】平成17年9月8日(2005.9.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ジャンプ命令に応答して、記録媒体上のトラックをトレースしてトラックから他のトラックへとピックアップ手段を移動させるようにアクチュエータジャンプ動作を実行する方法であつて、

前記ジャンプ命令を受信するステップと、

前記ピックアップ手段の移動を開始するためのジャンプ信号を供給するステップと、

前記動きを停止する制動信号を供給するステップと、

を有し、前記制動信号は第1の所定の期間と後続する第2の所定の期間とを有する方法において、

先行する速度制御期間の間、前記制動信号の第1の所定の要素を測定するステップと、

前記ピックアップ手段の前記移動の速度を維持するための前記測定された第1の所定の要素と、前記他のトラックにおいて前記ピックアップ手段の前記移動を停止するための第2の所定の要素とを組み合わせることにより前記制動信号を生成し、これにより前記第1の所定の期間の間は前記第1の所定の要素が適用され前記第2の所定の要素は適用されず、前記後続する第2の所定の期間の間は前記第1の所定の要素及び前記第2の所定の要素が適用されるようにするステップと、

を更に有することを特徴とする方法。

【請求項2】

前記第1の所定の期間は、前記他のトラックに対応する遷移の前のトラッキング誤り信号の最後の正の遷移において開始することを特徴とする、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記第1の所定の期間は前記速度が一定に保たれる遅延期間であり、前記第2の期間は一定の継続時間を持つアクティブな制動期間であることを特徴とする、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記第1の所定の期間の継続時間は、式：

$t_2 = 1/2 \cdot (T_0 - t_3 - t_1)$

によって決定され、ここで T_0 はトラッキング誤り信号の2つの正の遷移の間の継続時間を表し、 t_1 は遅延補償パラメータを表し、 t_2 は前記第1の所定の期間の継続時間を表

し、 t_3 は前記第 2 の所定の期間の継続時間を表すことを特徴とする、請求項 1 又は 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記第 2 の所定の要素は制動パルスであり、前記制動パルスの振幅は、式：

$$s_b = K / T_0$$

によって決定され、ここで K は所定の一定値であり、 T_0 はトラッキング誤り信号の 2 つの正の遷移の間の継続時間を表し、 s_b は前記制動パルスの振幅を表すことを特徴とする、請求項 1、3 又は 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記第 1 の所定の期間の間に前記測定された第 1 の所定の要素を出力し、前記第 2 の所定の期間の間に前記測定された第 1 の所定の要素と前記第 2 の所定の要素とを組み合わせるため前記第 1 の所定の要素を測定し保存するために、前記第 1 の期間に先行する前記速度制御期間の間トラッキング統合機能を制御するステップを特徴とする、請求項 1、3、4 又は 5 に記載の方法。

【請求項 7】

記録媒体に記録された情報を再生する再生装置であって、

前記記録媒体上のトラックをトレースするピックアップ手段と、

前記トラックと略垂直な方向に前記ピックアップ手段を駆動する駆動手段と、

前記ピックアップ手段を他のトラックへ移動するために、前記駆動手段にジャンプ信号及び制動信号を供給するアクチュエータジャンプ制御手段とを有する再生装置において、

先行する速度制御期間の間に前記制動信号の第 1 の所定の要素を測定する測定手段を更に有し、

前記アクチュエータジャンプ制御手段は、前記ピックアップ手段の前記移動の速度を維持するための前記測定された第 1 の所定の要素と、前記他のトラックにおいて前記ピックアップ手段の前記移動を停止するための第 2 の所定の要素とを組み合わせることにより前記制動信号を生成し、これにより第 1 の所定の期間の間は前記第 1 の所定の要素が適用され前記第 2 の所定の要素は適用されず、後続する第 2 の所定の期間の間は前記第 1 の所定の要素及び前記第 2 の所定の要素が適用されるようにする信号生成手段を有することを特徴とする再生装置。

【請求項 8】

前記測定手段は、前記速度制御期間の間に前記第 1 の所定の要素を測定及び保存し、前記第 1 の所定の期間の間に前記測定された第 1 の所定の要素を出力し、並びに前記第 2 の所定の期間の間に前記測定された第 1 の所定の要素と前記第 2 の所定の要素とを組み合わせ出力する統合手段を有することを特徴とする、請求項 7 に記載の装置。

【請求項 9】

前記統合手段は、前記測定された第 1 の所定の要素を保存するためのレジスタ手段と、前記測定された第 1 の所定の要素と前記第 2 の所定の要素とを組み合わせるための切り換え手段とを有し、前記切り換え手段は前記アクチュエータジャンプ制御手段によって制御されることを特徴とする、請求項 8 に記載の装置。

【請求項 10】

前記装置は、請求項 1 乃至 6 のいずれか一項に記載の方法を実行する手段を有することを特徴とする、請求項 7 に記載の装置。

【請求項 11】

前記再生装置は光ディスクプレイヤ又は光ディスクレコーダであることを特徴とする、請求項 7 乃至 10 のいずれか一項に記載の装置。